

1. 2014年3月期 第2四半期連結決算および2014年3月期業績予想

単位:百万円

	2011年3月期(第20期)	2012年3月期(第21期)	2013年3月期(第22期)	2014年3月期(第23期)		
	通期実績	通期実績	通期実績	第1・2Q計実績	第3・4Q計予想	通期予想
売上高	40,535	43,375	40,175	20,561	24,439	45,000
営業利益	△ 772	194	△ 1,176	△ 525	755	230
経常利益	△ 737	216	△ 1,235	△ 545	705	160
当期純利益	△ 801	△ 18	△ 1,480	※△ 1,262	592	△ 670

※当期の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2014年3月期第2四半期連結累計期間において、繰延税金資産572百万円を取り崩すこととし、法人税等調整額の一部として計上しております。

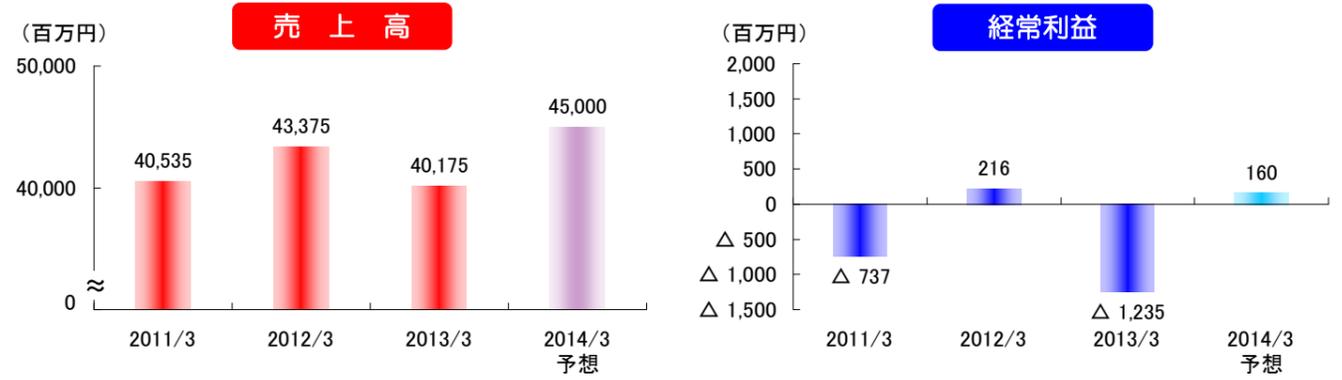
2. セグメント別売上高・セグメント利益

単位:百万円

		2011年3月期(第20期)	2012年3月期(第21期)	2013年3月期(第22期)	2014年3月期(第23期)
		通期実績	通期実績	通期実績	第1・2Q計実績
セグメント別 売上高	鉄鋼建設資材	25,751	28,550	24,961	13,004
	農業資材	12,167	12,324	12,729	6,263
	環境ソリューション	800	810	695	352
	砕石砕砂・ マテリアルリサイクル	1,835	1,822	1,800	940
	その他	458	437	374	139
	調整額	△ 478	△ 569	△ 385	△ 137
	計	40,535	43,375	40,175	20,561
セグメント別 利益	鉄鋼建設資材	△ 569	375	△ 1,045	△ 548
	農業資材	810	866	881	479
	環境ソリューション	△ 75	71	1	8
	砕石砕砂・ マテリアルリサイクル	72	68	77	69
	その他	2	3	4	△ 8
	調整額	△ 1,012	△ 1,190	△ 1,095	△ 525
	計	△ 772	194	△ 1,176	△ 525

3. 鉄鋼建設資材事業および農業資材事業の実績

		単位	2011年3月期(第20期)	2012年3月期(第21期)	2013年3月期(第22期)
			通期実績	通期実績	通期実績
鉄鋼建設資材	鋼材販売数量 計	千トン	398	425	391
	異形棒鋼	千トン	298	325	288
	構造用鋼	千トン	99	101	103
	鋼材販売単価	千円/トン	62	65	61
	スクラップ払出単価	千円/トン	34	34	29
	メタルシートの単価	千円/トン	28	31	32
農業資材	肥料販売数量 計	千トン	112	115	112
	内有機肥料	千トン	73	72	73
	肥料販売単価	千円/トン	77	78	81



4. 2014年3月期 第1・2Qの業績分析

鉄鋼建設資材	主力製品である鉄筋は、鉄筋加工の人手不足で施工が進まない中、供給過剰感が強く、需要回復が遅れ、依然として厳しい状況が続きました。 ・販売数量: 積極的受注活動で物件獲得、前年同期を上回る ・販売単価: 値上げ活動を積極的に推進するも計画した単価には至らなかった ・コストダウン活動: 操業体制の見直し、修繕コストの圧縮等を図るも、エネルギーコスト上昇大(電気料金 年間約7億円上昇【値上前比】燃料費調整金等増加) ・原材料価格: 主原材料の鉄スクラップは高値推移、副原材料価格も上昇 販売価格の値上げ幅拡大せず、鉄スクラップ高値推移により、値差が縮小し、前年下期より改善するも、前年同期比減益。
農業資材	セグメントとしては、前年同期と比べ増収増益となりました。 ・肥料事業: 2013年6月からの肥料販売価格の値上げによる繰上げ出荷とOEMの受注拡大により、主力製品である有機質肥料を中心に販売数量が大幅に増加 ・園芸事業: 春先の天候不順、夏場の猛暑が続いたことにより、家庭園芸用資材の売上げ低調 ・種苗事業: トマト黄化葉巻病に耐病性のある「アニモ」の販売が増加 ・乾牧草事業: 円安で仕入価格が上昇し、上昇に見合った値上げが進まず
環境ソリューション	セグメントとしては、前年同期と比べ増収増益となりました。 ・官公庁案件の調査・分析業務や環境アセスメント業務の受注確保により堅調に推移
砕石砕砂・マテリアルリサイクル	セグメントとしては、前年同期と比べ増収増益となりました。 ・砕石砕砂: 生コンクリート需要が堅調に推移し販売数量の増加と販売価格の値上げ実施 ・マテリアルリサイクル: がれき類・木くずの集荷量拡大

5. 2014年3月期 第3・4Qのセグメント別戦略

鉄鋼建設資材	・建設需要の増加に伴い、鉄筋の需要は第3四半期から徐々に拡大し、第4四半期で本格的に拡大 ・コストアップ分を転嫁した販売価格での販売を推進 ・マーケット需要を踏まえ、高付加価値製品の太径高強度鉄筋の販売強化 ・徹底したコストダウン活動の推進 操業体制の見直しによるコストダウンの徹底 設備投資、修繕費など経費の圧縮
農業資材	・肥料事業: マーケットシェア拡大に向けた低価格有機質肥料の販売、当社独自の有機肥料原料開発の更なる取組み ・園芸事業: 新商品の導入によるシェア拡大、取扱店舗拡大(取扱ホームセンター3,000店を目標) ・種苗事業: 熊本に次ぐ大産地(千葉、茨城、愛知)でのアニモのシェア拡大 ・乾牧草事業: 良質な乾牧草を輸入し、国内販売エリアの拡大
環境ソリューション	・東北地区を中心に放射能測定業務、除染対策業務などを推進 ・官公庁や民間の調査・分析業務の受注拡大にも注力
砕石砕砂・マテリアルリサイクル	・需要拡大に対応した販売数量の確保や製品価格の値上げ推進
全体	・要員体制の見直し(小さな管理)、経費圧縮の徹底

6. 設備投資の実績および計画

単位: 億円

	2011年3月期実績	2012年3月期実績	2013年3月期実績	2014年3月期計画
金額(検収ベース)	49	14	19	15
償却額	21	22	21	20
主な案件	圧延加熱炉(19億) 圧延スタンド増設(15億)	LF用変圧器(2億)	炉用変圧器(8億) RHFバーナー天然ガス化(2億)	